

光明台中学校区における 今後の教育環境について

2026

Feb.

No.1

光明台中学校区の各小中学校においては、少子化・小規模化が続く見込みです。教育委員会事務局では、将来に向け、より良い教育環境について検討しています。

光明台校区の児童生徒数の状況

	H22	H27	R2	R7	R12 (推計)
光明台北小	766人	734人	590人	350人	304人
光明台南小	553人	556人	420人	247人	191人
光明台中	511人	610人	576人	477人	274人
合計	1,830人	1,900人	1,586人	1,074人	769人

- H27年をピークに、年々減少傾向（光明台北小はH27年以前から減少傾向）
- 年を追うごとに減少幅が拡大し、今後もさらに減少していく見込み

5年後の児童生徒数・学級数の推計

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
光明台北小	35 (1)	54 (2)	43 (2)	57 (2)	75 (3)	40 (2)				304 (12)
光明台南小	28 (1)	32 (1)	32 (1)	29 (1)	42 (2)	28 (1)				191 (7)
光明台中							89 (3)	83 (3)	102 (3)	274 (9)
統合した場合	63 (2)	86 (3)	75 (2)	86 (3)	117 (4)	68 (2)	89 (3)	83 (3)	102 (3)	769 (25)

- 中学校区全体の児童生徒数は769人となる

校舎の状況

学校名	開校	築年数
光明台北小	昭和60年	40年
光明台南小	昭和53年	47年
光明台中	昭和53年	47年

- いずれの学校も築40年以上で、老朽化。
- 一般的なコンクリート造の耐用年数は60年。使用し続けるなら、長寿命化を図るため、大規模改修工事が必要。

現状では、一定の教育環境が確保されており、検討の必要性が感じられないかも知れませんが、5年後の児童生徒数を鑑みると、将来に向けた教育環境の検討が必要な時期にきています。

そのため、PTAや就学前の保護者、町会、地域関係団体の代表の方々と、光明台中学校区における今後の教育環境についての意見交換会をスタートしました。

意見交換会の概要は裏面に記載しています。

第1回意見交換会

- ・令和8年1月20日（火） 光明台南校区を対象に開催（出席者13人）
- ・令和8年1月24日（土） 光明台北校区を対象に開催（出席者13人）

意見交換会の概要

- ・今後の児童生徒数の見通しを共有
 - ・校舎の築年数の状況を共有
 - ・施設一体型義務教育学校での取組み映像を共有
 - ・施設一体型義務教育学校を導入するために必要な手続きを共有
 - ・今後、地域の方と意見交換を行い、説明会などを行っていくことを共有
 - ・南松尾はつが野学園、槇尾学園の状況などを共有
- その後、3つのグループで気になることなどについて意見交換を行いました。

※当日の資料はこちらに掲載



主な意見

- ・施設一体型義務教育学校に関する情報をもっと知りたい
 - ・南松尾はつが野学園、槇尾学園の現状を詳しく知りたい
 - ・学校の施設が新しくなるのは嬉しい
 - ・学校の場所がどこになるのか知りたい
 - ・遠距離通学のこと心配（通学手段などが気になる）
 - ・バスに乗って通学できるなら安心
 - ・施設一体型義務教育学校になれば、小中学生の交流がしやすく良い
- その他たくさんのご意見をいただきました！

（参考）

和泉市では、既に施設一体型義務教育学校である「南松尾はつが野学園」、
「槇尾学園」が開校しており、意見交換会の前に見学会を実施しました。
また、令和9年4月には市内3校目となる（仮称）富秋学園が開校予定です。



南松尾はつが野学園



槇尾学園

今後の予定

- ・地域の方との意見交換会等を重ねながら、地域説明会やアンケート調査などを行うことも検討しています。（時期未定）
- ・今後、校舎整備や通学対策などについても意見交換を行う予定ですので、ニュースレターで情報を発信していきます。

ニュースレターをメールで配信します！

ニュースレターの配信を希望される方は、右の二次元コードを読み取っていただき、お名前、「ニュースレター希望」と記載のうえ、メールを送信してください。



（問合せ先）和泉市教育委員会事務局
教育・こども部 教育総務課

（TEL）0725-99-8196

（E-mail）komyodai@city.osaka-izumi.lg.jp